

平成25年大磯町議会

9月定例会一般質問（9月12日・13日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1</p> <p>2番 二宮加寿子議員 (60分) 9:05～10:05</p>	<p>1. 子育て支援について 児童や生徒たちの自立を支援するため、一人一人の状況を把握し、生活や学習の困難を改善・克服するため、保護者への支援も大切と考える。就学前療育事業、また小学校入学後の連続的支援が重要と考えるが。</p> <p>(1) 発達障がいなどを早期に発見する5歳児健診と今後の対策は。 (2) 子育て支援センターでの内容を伺う。</p> <p>2. がん教育について 文部科学省は8月13日、小・中・高でがんに関する保健教育を強化する方針を決めた。 がん対策推進基本計画でがんに関する知識の普及啓発を進めると明記された。学校教育の中で生死を考える授業はあるが、がんを知ること命の大切さを知り、さらにはいじめや自殺の防止にも影響を与えられると思うが。 (1) 町の体制づくりや進捗状況の現状を問う。</p> <p>3. 観光立町を歌でアピールする考えについて 観光の町として親しみやすい歌をつくり、観光立町としての町をアピールしてはどうか。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長</p> <p>町長</p>
<p>2</p> <p>7番 吉川重雄議員 (90分) 10:25～11:55</p>	<p>1. 下水道工事その他の土木工事の入札実態と課題を問う 財政がひっばくしている中で、最近の下水道工事における入札状況について、入札落札率が異常な高どまりの結果が出ている。町内土木業者育成の名のもとに、血税が無駄に使われていないか。 特に、土木工事における入札の実態（平成23年・24年度実績）を検証し、現状と今後の課題について問う。</p> <p>(1) 全般的に町内業者のみ参加の工事について、落札率が高いのはどうしてか。 (2) 契約後に変更契約が多く行われ、変更ありきな状況がある。設計変更により当初の予定価格を上回っている工事があるが、どうしてか。 (3) 入札参加資格の見直しは、どこで、だれが、どのように決定するのか。</p>	<p>町長</p>

	<p>(4) 町が行っている設計価格（入札予定価格）の調査は、だれが行っているのか。それを業者にはどのような方法で説明しているのか。</p> <p>(5) 年間、土木業者が入札・契約した後に、全体契約の80%以上に変更契約がなされている実態をどう理解しているのか。</p> <p>(6) 24年度、町内業者プラス町外業者を入れての入札落札率は平均85%である。24年度分の土木工事契約全体を85%の入札落札率で積算してみると、約8,000万円の削減になる。入札方法の見直しを考えると必至と思うがどうか。</p> <p>(7) この結果を見て、24年度・23年度の税金の執行について問題なしと考えるのか否かを問う。</p> <p>(8) 災害協定を締結していることが、社会貢献と言えるのか。</p>	
<p>3</p> <p>8番 高橋富美子議員 (70分) 13:00～14:10</p>	<p>1. 国府中学校のグラウンドは改修工事により、良くなったのか</p> <p>(1) 改修工事の目的と達成状況は。</p> <p>(2) 税込み7,560万円をかけた改修に対し、現況をどう考えるか。</p> <p>(3) 土埃、スプリンクラーの配備不十分、石ころが多数出てきている状況に対し、どう対処していくのか。</p> <p>2. 県立高校の新入試制度により行われた今年3月の入試結果はどうであったか</p> <p>(1) 生徒、保護者の不安は解消されたか。</p> <p>(2) 大磯の両中学校における入試結果はどうであったか。</p> <p>(3) 新制度第1期の混乱や問題点の評価、反省はできているか。また、それらを今年度の入試にどう生かしていくのか。</p> <p>3. 大磯中学校の車イスを使用する生徒の現状は</p> <p>(1) 学校生活をおくる上で安全は確保されているのか。それに伴う支援員の配置はどうであるか。</p> <p>(2) 今後の課題にどう対処するのか。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長</p>
<p>4</p> <p>15番 清水 弘子議員 (60分) 14:25～15:25</p>	<p>1. 国府小学校のオープンスペースの間仕切りについて</p> <p>国府小学校はオープンスクール形式の学校として平成4年3月に建設された。教室と廊下の境がなく伸び伸び授業が受けられるというものである。</p> <p>しかし、子どもを取り巻く環境が変わり、せめて高学年の教室には間仕切りが必要と思うが、対応について伺う。</p> <p>2. 嶋立庵西側の葬儀場建設の白紙撤回を求める</p> <p>(株)サン・ライフによる(仮称)大磯ホール計画は庁舎と嶋立庵の横に建設するもので、この計画に近隣住民を含め町民は反対している。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p>

	<p>5月20日にサン・ライフより開発申請書が出され、町は審査結果通知書に「適」を交付した。町民は大変失望している。</p> <p>町のその後の交渉について伺う。</p> <p>3. 最期まで安心して住めるまちづくり、2025年問題にいかに取り組むか</p> <p>2025年、団塊の世代が75歳を迎える。大磯町でも65歳以上は平成29年には30%を超えると予測されている。</p> <p>医療費の削減など、町でも「おあしす24健康おいぞ」という取り組みを推進している。</p> <p>しかし、75歳以上になると体力などが衰える方も多くなり、医療や介護のサービスを受けざるを得ない人も出てくる。</p> <p>地域包括ケアの考え方から第5期計画にも地域の特性に応じ、高齢者支援のあり方の検討が必要とされている。</p> <p>大磯町における在宅医療や在宅介護のあり方について問う。</p>	町長
<p>5</p> <p>6番</p> <p>片野 哲生議員</p> <p>(30分)</p> <p>15:45～16:15</p>	<p>1. 新たな観光の核づくりにおける三つの舞台の課題である公衆トイレの整備について</p> <p>大磯町新たな観光の核づくり基本計画において、大磯丘陵、邸園文化交流圏、こゆるぎの浜という三つの舞台における課題の一つとして、まち歩きコースの充実やトイレや休憩所等の充実を掲げている。</p> <p>また、大磯町全体の課題として「おもてなしの心」の必要性を述べている。この基本計画におけるニューツーリズムを推進するためには、「おもてなしの心」を実践する手段のひとつである早急な公衆トイレの改修・整備が必要であると考え、町の整備についての考え方と今後の取り組みについて伺う。</p>	町長

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>6</p> <p>12番 関威國議員 (60分) 9:00~10:00</p>	<p>1. 新たな観光の核づくり基本計画を問う</p> <p>平成25年2月に神奈川県認定を受けた新たな観光の核づくりのプレゼンテーションを実現するため、また観光立町を目指すため、「大磯町新たな観光の核づくり基本計画」は、大磯町を活性化するうえで大変重要な政策である。</p> <p>そこで以下の項目について問う。</p> <p>(1) 基本計画には購入した駅前用地を観光推進拠点として活用することにふれていないが、活用する考えはあるか。</p> <p>(2) 基本計画を実施するために、具体的に行動ができる詳細なアクションプランはいつまでに策定するのか。</p> <p>(3) 先導的官民連携委託調査と「新たな観光の核づくり基本計画」との関係は。</p> <p>(4) 5カ年計画の「新たな観光の核づくり基本計画」を成功させるために、進捗管理と政策・施策評価はどのようにするのか。</p> <p>2. 町内会への加入を促進する施策は</p> <p>町内会は任意団体であるが、多くの住民が加入し、町内会行事に参加して親睦と絆を深めている。</p> <p>また、行政の支援活動として、町内会加入者へは広報の配布、町のお知らせの回覧、社協の会員募集と集金等の活動に協力している。</p> <p>しかし、未加入者には前記の活動を一切していないため、町からの情報が伝わらず、ごみの説明会には参加しない、防災訓練には参加しない、環境美化活動に協力しないなどの問題がある。</p> <p>単身者・共働きが多いアパートの場合は未加入者が多い状況であり、未加入者が多くなると町内会活動にも影響が及ぶ。</p> <p>そこで以下の項目について問う。</p> <p>(1) 町と町内会はどのような関係にあるのか。</p> <p>(2) 年間の転入世帯数と地区別加入世帯数及び加入率は。</p> <p>(3) 転入世帯への加入促進のパンフレットや未加入世帯への加入対策は。</p> <p>(4) 転入した高齢者世帯への見守り対応は。</p> <p>(5) 10月から実施するごみの分別収集を未加入世帯へどのように徹底指導するのか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>
<p>7</p> <p>5番 坂田よう子議員 (60分) 10:10~11:10</p>	<p>1. 持続可能な行政運営を目指した財政改革に関する所信を問う</p> <p>地方分権により、自治体が自らを律し、持続可能な行財政運営をすべき責務はさらに大きくなった。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律の公布」及び「公会計整備にかかる実務研究会報告書の公表」が行われ、資産・債務の実態把握を促進し、具体的施策の策定が行われていると言える。</p>	<p>町長</p>

	<p>本町における持続可能な行政運営を目指した財政改革に関する所信を伺う。</p> <p>(1) 「資産管理型」の自治体経営を目指す「公会計制度」に対する取り組みについて。</p> <p>(2) 固定資産台帳整備の必要性に対する認識について。</p> <p>(3) 公共施設更新問題に対する「公共施設白書」への取り組みについて。</p> <p>2. 行財政マネジメント改革に関する所信を問う</p> <p>すでに、本町は行政改革大綱を示し、総合計画・予算・人事評価・行政評価・事務事業評価等の多岐にわたる個別の行革システムを運用していると考ええる。</p> <p>しかしながら、それら個別の行革システムは、トータルマネジメントとして有効活用されているか。本町の行財政マネジメント改革に関する所信を伺う。</p> <p>3. 大磯港「賑わい交流ゾーン」の再整備計画の展望を問う</p> <p>第4の観光の核づくり事業の中に、保養地創造を目指す「ブルーパーク」の取り組みとして、大磯港「賑わい交流ゾーン」の活用が明記され、いよいよ、再整備計画の実施が期待される。現況と今後の具体的な展望を伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>8</p> <p>1 番</p> <p>高橋 英俊議員</p> <p>(40 分)</p> <p>11:20~12:00</p>	<p>1. 大磯町所有の公共施設老朽化に対する今後の取り組みについて</p> <p>(1) 町所有の公共施設老朽化についての現状認識は。</p> <p>(2) 施設別の現状と課題は。</p> <p>(3) 地域別の現状と課題は。</p> <p>(4) 今後の公共施設サービスの課題と方向性は。</p> <p>(5) これからの取り組みはどのようなものか。その課題は。</p>	<p>町 長</p>
<p>9</p> <p>3 番</p> <p>渡辺 順子議員</p> <p>(60 分)</p> <p>13:00~14:00</p>	<p>1. 未来世代を放射能から守るためにすべきことは何か</p> <p>2011年3月11日に起きた東京電力福島第1原発の事故は、レベル7をも超える世界最悪の放射能災害となった。排出した放射能で日本各地が汚染され、2年経った今でも原発から放射能が出ている。</p> <p>さらに、原発海側の地下トンネルにたまった汚染水が海に漏れ出しているさなかに、地上の貯水タンクから高濃度汚染水漏れが起きた。すでに海底には高レベルのホットスポットが存在することも明らかになった。原発事故は未だ収束していないどころか次々に危険な状態に陥ってくる。</p> <p>未来世代を放射能から守るためにすべきことは何か、私たちの今の選択には重い責任がある。そこで今回は町が行っている次の2点について質問する。</p>	<p>町 長</p> <p>教育長</p>

	<p>(1) 特に放射能の影響を受けやすい子どもたちの内部被曝を防ぐためには、汚染された食品を食べさせないことが重要である。給食食材の放射性物質の測定については、昨年、福祉文教常任委員会から大磯町教育委員会宛てに、測定器を購入して、当日給食で使用する食材を測定するよう申し入れた。何回かやり取りがあったが、10月25日に教育委員会から、現在行っている検査をしばらく続け、様子を見ながら改善をはかるとの回答があった。</p> <p>①その後、改善ははかられたか。 ②検査の実施機関・測定物質・方法・基準値は。 ③教育委員会が検査にあたって重要としている点は何か。 ④放射能に関する保護者からの要望と対応は。</p> <p>(2) 汚染の現状を正しく把握し公開することは、安心につながる重要な作業である。放射線量調査はどうか。</p> <p>①放射線量の測定を開始した時期と理由は。 ②測定方法と場所は。 ③測定の日安は。 ④土壌の測定は。</p> <p>2. 秩序あるまちづくりに必要な施策は何か 秩序ないまちづくりが行われる事例が目立つが、問題点はどこにあり、今後どのような施策が必要であるか。町長の所見を問う。</p> <p>(1) 敷地海岸側の松が大量に失われた後、風致地区の指定対象になった東電跡地のルネサンス大磯の建設。 (2) まちづくり条例の規則見直しには間に合わない大磯ホールの建設。 (3) 建築後既存不適格となる駅北側の(仮称)ライフレビュー大磯。 (4) 必要性が疑問視される町道幹16号線の拡幅整備。</p>	町長
<p>10 11番 三澤 龍夫議員 (40分) 14:15~14:55</p>	<p>1. 駅前用地の利活用について 駅前用地の利活用については、さまざまな意見があがっているが、将来のまちづくりの観点から考えていくことも必要だと思う。 駐輪場の再整備について、どのくらい考えがまとまっているのか、タイムスケジュールを問う。</p>	町長
<p>11 13番 鈴木 京子議員 (90分) 15:15~16:45</p>	<p>1. 福祉・教育施策の見直しについて問う 国においては高齢者の負担増を伴う社会保障の改悪が明らかになった。町では国保税の見直しをはじめ、障害者医療制度、介護保険計画、下水道料金がどうなるのか、見直しについて問う。教育分野では、特に中学校給食について問う。</p>	町長 教育長

	<p>2. 議論の前提とすべき町の情報提供について問う 駅前用地・旧吉田邸再建・町道幹 16 号線・防災訓練など、庁内をはじめ町民参加で議論が進んでいるが、町の持つ情報の提供の順序のあり方や、町が調べておくべき課題整理や調整が先送りにされていると考える。町長の所見を問う。</p>	町 長
	<p>3. まちづくりの諸課題について問う まちづくり条例に基づく以下の案件について進捗及び所見を伺う。 (1) 葬儀場。 (2) ルネサンス大磯。 (3) ライフレビュー大磯。 (4) アクアテラス大磯。 (5) 西小磯郷土資料館 J R 北側。</p>	町 長

1 1 名 2 3 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。